

# 怒りのストに挑むため

## 検修と営業の仲間が

# 一丸となって決起

十一・三〇第二波ストは、JR当局・権力の弾圧、介入をはねのけ検修職場と営業の仲間合わせて百一名がうって一丸となって堂々と貫徹した。

### 検修の最大拠点・幕張でスト突入

検修の最大拠点・幕張支部では、十六時八分石幡支部長の「スト突入」の号令のもと五四名が整然とストに入る。

今春闘ストライキに続いて二度目のストライキである。当局は、正午すぎから白腕二十名を庁舎内に待機させ、スキあらば弾圧、介入しようとするまなこになっている。

だが、我々の清算事業団組合員を想う熱い心と、当局の横暴な経営姿勢に対する激しい怒りは、当局をもとめせず一糸乱れないストライキとなつて、その力を発揮したのである。この日習志野電車区の検修の仲間、木更津支部の仲間も敢然と

ストを打ち抜いた。

### 駅・売店で連続決起

営業の仲間たちは、第一波に続いての連続決起である。営業の仲間ほとんどが強制配転された仲間たちである。怒りは並大抵のものではない。

今回の士職登用(車掌区への配属問題も含め)での露骨な選別・差別登用に對し煮えたぎる怒りを燃やしているのだ。

JR総連・革マルと結託し、あくまでも動労千葉や国労を差別し、組織破壊を強めようとする当局に、心底怒らない労働者は、労働者ではない。やられたらやりかえす! 理不尽で不当な扱いを受けたら断固闘う! これは労働者、人間としての当然の権利である。

営業の仲間たち一人一人が「俺の闘い」として本気で決起したのだ。当局が不誠実な態度をとりつづける限り、何度

でも何波でも闘い続ける決意をガツチリと打ち固めたのである。

### 二三四〇名で総決起集会△△

夜の総決起集会は、ロビーにまで溢れる三四〇名組合員が結集し、三波ストにむけてものすごい迫力に満ちた決起集会となった。

集会は、動労水戸の仲間の連帯あいさつで始まり、続いて立った各スト突入者の代表挨拶には、万雷の拍手が送られた。

ロビーにも溢れる熱気の中で中野委員長は、「堪忍袋の緒は切れた。国労も本日全国でストに突入している。我々は事業団の仲間を奪還し、JRの中に吹き荒れる山ほどの問題打開のために、昨年の十一・五東中野事故一周年にして、伝家の宝刀を抜く。これ以上の迫害を許してはならない。意を決して第三波ストへ」と大号令を発した。

中野委員長の基調を受けて、各支部・青年部から力強い決意表明を受け、第三波ストへ全力態制に突入した。

JR千葉支社当局の目に余る横暴を許さず、反合・運転保安確立を目指し、いざ第三波ストへ!

## 12/5 第三波スト

十一・五第二波スト!

☆対象者及び 全乗務員(貨物及びいすみ 鉄道を除く)

対象時間 午前零時以降二四時間

(指令ばつすい)

各支部は、いついかなる時にも、全組合員を対象としたストライキに突入できる準備体制を継続強化すること。

各支部は、闘争体制を確立するために、緊急に執行委員会、全組合員を対象とした個別オルグ等を行い、本指令の徹底をはかるとともに、警察権力・JR当局・JR総連の弾圧・介入に對して、万全の対応ができる体制を確立すること。

各支部は、各拠点において、十二・四、十二・五第三波スト前夜総決起集会を開催すること。

各支部は、不当労働行為摘発行動を強化し、当局の動向把握に努めること。